

地域ふるさと 振興校	学 校	学 科	課 程
	黒沢尻工業高等学校	機械科、電気科、電子科、電子 機械科、土木科、材料技術科	全日制

URL (note) <https://kst-hs.note.jp/> 電話 0197-66-4115

入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー） 「このような生徒を待っています」	
・工業に関心があり、本校の学習内容や教育活動に興味関心を持っている生徒 ・ものづくりをとおして地域と社会に貢献し、世界で活躍することを夢見る生徒 ・自らの成長と夢の実現に向けて、資格取得に挑戦する生徒 ・他人を認め、部活動や奉仕活動に積極的に取り組む意欲のある生徒	
地域との連携体制等	
連携先	北上市、北上川流域ものづくりネットワーク、いわて半導体関連産業集積促進協議会（I-SEP）、北上工業クラブ、岩手建設業協会北上支部、北上地区電気工事業協同組合、岩手大学 等
具体的な取組	1 生徒による出前授業 ・3学年課題研究では、「地域連携プロジェクト」や「ボランティア活動」を行い、それぞれの地域課題を発見することを目的として、その解決方法等を探る。 ・3学年では、工業高校の理解促進を目的として、各科による「出前授業」を計画し、要望のあった小中学校に出向き、工業高校の学びを実演している。 ・3年電気科による「出前授業」を行い、エネルギー環境教育に重点をおいた各種実験を管内の小中学生に実演・体験させる。 2 地元企業との連携 ・2学年では「地元企業出前授業」を行い、管内企業の代表者・技術者の方からの講話により、地域産業の理解を深めるとともに、自らの将来を考える機会としている。 ・3年土木科では、測量技術の基礎から工事用測量等の技術を習得することを目的として、建設業協会北上支部青年部の協力を得て「測量実技講習会」を実施している。 ・2、3年電気科では、電気工事士技能試験に向けた技術習得を目的として電気工事業協同組合北上支部の協力を得て、「電気工事士実技講習会」を実施している。 3 半導体・デジタル人材育成（DX ハイスクール（半導体重点枠）の採択） ・電子科、電子機械科では岩手大学大学院生の出前授業（岩手大学半導体アカデミー）を受講し、半導体の理解を深める。 ・全校による「半導体セミナー」では、I-SEP 会員の半導体関連企業の社員が講師となり半導体の基礎講座を受講している。 ・電子科では、いわて半導体関連人材育成施設において半導体製造装置などを活用した実践的な学習を実施。
入学後の居住環境等	
住居の状況	パンション（学校から複数の居住地の紹介可能）。
食事の提供予定	朝夕2食（平日、土曜）、平日昼食は業者弁当。
通学方法・時間	徒歩又は自転車・3分
費用（学校の諸経費や通学費用を除く）	賃料 26,000 円/月 共益費 5,000 円/月 食事代 朝夕 800 円/日 昼食 470 円/日（業者弁当） ※北上市から市外出身者の下宿生に対し、10,000 円/月（120,000 円/年）の下宿等補助金あり。
サポート体制	緊急時は居住地及び学校が連携して対応する（居住地には管理人が常駐、夜間は管理会社のサポート体制あり）。

選 抜 方 法 等	【募集定員】12名 (ただし、各科4名以内) 【選抜日程】出願期間 令和8年1月14日(水)～19日(月) 検 査 日 令和8年1月27日(火) 集合時刻 9:00 終了時刻 12:00(予定) 【選抜方法】 1 調査書(学習の記録)(100点) 「中学1年の9教科の評定×1+中学2年の9教科の評定×2+中学3年の9教科の評定×3」の合計270点を圧縮 2 志願理由書(50点) 評価の観点(配点):これまでの取組への主体性、積極性等(25点) 入学後の活動に関する意欲(25点) 3 面接(150点) ・個人面接(一人あたり15分) ・志願理由 入学後に取り組みたいこと、将来の進路意識などについて、面接官の質問に答える ・評価の観点(配点):高校生活への意欲(70点) 進路に関する意欲(50点) 表現力(30点) 《合計300点》

《志願及び受検にあたっての留意事項》

- ・出願にあたっては、必ず志願者本人及び保護者が事前に学校を見学し、入学後の学習環境や居住環境についての説明を受けること。
- ・出願の手続は「岩手県立高等学校入学者選抜実施要項」によること。
- ・他の公立高等学校と併願できないこと。